

建学の精神

学校法人香川栄養学園の建学の精神は、「食により人間の健康の維持・改善を図る」ことです。

学園創立者の香川昇三・綾は、当時蔓延していた脚気が胚芽米で容易に治療・予防できることに感動し、真の医者とは病人を診るよりも病人を出さないことに務めるべきだと考え、1933（昭和 8）年に自宅で『家庭食養研究会』を開いて栄養学の普及活動を始めました。

※詳しくは[香川綾物語 Web サイト](#)をご覧ください。